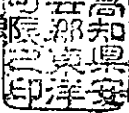


20東産業第127号
平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

高知県安芸郡東洋町大字生見758-3
東洋町長 澤山 保太郎



今後の道路行政についての意見・提案の提出について（要望）

上記の件につきまして、別紙のとおり要望いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

本町では、道路整備がまだ十分でないために緊急医療サービス・住民安全・安心確保の面においても不安を抱えて生活している状況であります。

この中で、本町の大動脈である国道55号線は唯一の幹線道路であるが、集中豪雨や台風等異常気象時にはたびたび道路が遮断され、そのため町が陸の孤島となり、事故や災害などの人命に関わる緊急時をはじめ、地域住民の経済活動や緊急医療等の日常生活にも大きな支障を来し、また、県中央・東部から徳島・関西方面への各種の通過車両、滞在する観光客らに大きな不安を与えています。

本町としては、付加価値の付いた環境や社会に優しい道路整備も大切とは思いますが、それよりも、交通安全や災害に強くて地域住民が安心して暮らせるための必要最低限の道路整備を優先的に望みます。

今後の道路行政についての意見・提案

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状

国道５５号線相間区間では、短区間にカーブが多く狭隘なため交通事故多発の危険区域であります。

また、歩道未設置のため自動車はもとより、自転車通学者や歩行者が危険と隣り合わせであります。

この危険区域の安全な交通を図るためにもこの区間の早期改良を達成させなければなりません。

○課題

用地交渉及び財源

今後の道路行政についての意見・提案

②－２ 地域の目指すべき将来像

道路は、住民の生活や産業・経済活動を支えるもつとも基本となる基盤整備であります。

道路整備を限られた財源の中から計画的に行い、現在不安材料である緊急医療サービス・住民安全・安心確保の面を解消し、安心して生活出来る環境を整え、また、道路整備による産業経済活動を活発化させて、過疎地域というハンディキャップを乗り越えていきたいと思います。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
①交通安全対策	国道５５号線伏越・相間地区は、カーブが多く狭隘であり、歩道も整備されていない。 交通事故多発区間であるが、通学者や、お遍路さんなどが常時往来している。	交通事故の減少、安心して歩ける道	
②防災対策	平成１０年に国道５５線が台風による崩土や冠水のため、室戸～東洋間と隣接している徳島県海陽町で通行止めとなり、東洋町、海陽町が孤立し、自治体の機能が麻痺した。	安心して暮らせる街作り	